



報道関係各位



2022年11月30日

ビール酒造組合

## 新成人は18歳に。お酒は変わらず20歳から。 2022年冬「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合及び会員であるビール5社（アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・サントリー(株)・オリオンビール(株)）は、20歳未満者の飲酒防止を目的として2005年より「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクトを展開しています。当プロジェクトは例年、4月と12月のキャンペーン期間中に「STOP!20歳未満飲酒」の広告の露出を高め、メッセージの認知向上と20歳未満飲酒防止の浸透を図っています。

今回のキャンペーンでは、本年4月1日に成年年齢が18歳に引き下げられたことに対応するため、お酒は変わらず20歳以上であることを再確認いただくこと、20歳未満者の飲酒がなぜ禁止されているかを正しく理解いただくことを目的に下記の取組みを実施します。

### ① 12月広告展開

成年年齢の引き下げに対応するため、お酒は20歳以上であることを強調する広告デザインに本年改訂しており、12月月間で出稿量を集中的に投入し「STOP!20歳未満飲酒」を告知します。YouTubeでの初めての動画配信などSNS等のデジタルメディアへの広告投入により、メインターゲットである10代と親世代を中心に告知する計画です。

### ② Webサイト 学習コンテンツのリニューアル

本年、STOP!20歳未満飲酒のWebサイトをリニューアルし、10代のための学習コンテンツを拡充しました。キャッチーなイラストを用いた令和版のデザインに変更だけでなく、学習指導要領に沿った内容に改訂しました。また、動画や理解度チェックテストは小学生向け、中学生・高校生向けを用意し、レベルに合わせて学習いただけるように工夫しました。学校の10代の飲酒防止教育の授業等で、学習コンテンツが利用されることを期待しております。

STOP!20歳未満飲酒 Webサイト <https://www.stop-underageddrinking.com/>

### ③ 店頭でのPOP掲出

コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア、カラオケボックス等の店舗内で「STOP!20歳未満飲酒」のPOP類をご掲出いただき、20歳未満飲酒防止の告知に取組みます。

<協力団体>

一般財団法人 日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会、一般社団法人 日本カラオケボックス協会連合会



(別紙)

《メッセージ》

STOP!  
20歳  
未満飲酒

新成人は18歳に。  
お酒は変わらず20歳から。

STOP!  
20歳未満  
飲酒

新成人と  
お酒成人はちがう。  
ちゃんと  
覚えておかなかちゃ!

ビール酒造組合

「STOP!20歳未満飲酒 新成人は18歳に。お酒は変わらず20歳から。」

「新成人とお酒成人はちがう。ちゃんと覚えておかなかちゃ！」

STOP!  
20歳  
未満飲酒

新成人は18歳に。  
お酒は変わらず20歳から。

STOP!  
20歳未満  
飲酒

「子どもの自主性を  
大切にしているから」  
って。それとこれとは、  
話がちがう。」

ビール酒造組合

「STOP!20歳未満飲酒 新成人は18歳に。お酒は変わらず20歳から。」

「「子どもの自主性を大切にしているから」って。それとこれとは、話がちがう。」

＜主催＞ ビール酒造組合 ＜協賛＞ 日本洋酒酒造組合 ＜後援＞ 国税庁 内閣府 厚生労働省

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座 1-16-7 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <https://www.brewers.or.jp>